

発達障害児のライフサイクル支援セミナー



主催 名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター
発達障害分野における治療教育的支援事業

「発達障害児に対する将来を見すえた支援 ～幼児期から成人期に向けて～」

- 日 時 平成25年8月23日（金）
9時15分より（受付8：45～）
- 場 所 名古屋大学 豊田講堂ホール 他

定員
500名
参加費：無料

- 対 象 （午前）発達障害児・者への支援に関わっている専門家、行政関係者、その他発達障害児・者への支援に関心のある方
（午後）守秘義務のある専門家

プ ロ グ ラ ム

午 前

9：15～開 会

総合司会 松本真理子（名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター教授・センター長）
開会挨拶 國枝 秀世（名古屋大学理事・副総長）

9：30～10：00

特別講演「特別支援教育の現状と課題」

司 会 森田美弥子（名古屋大学教育発達科学研究科教授）
講 師 樋口 一宗（文部科学省 特別支援教育調査官）

10：00～12：30 シンポジウム

「発達障害児へのライフステージに応じた支援 ～将来を見すえて～」

- 司 会 永田 雅子（名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター准教授）
野呂 健二（名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター特任准教授）
- ①「発達障害児への早期からの支援 ～健やかな学校生活のために～」
野呂健二（名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター特任准教授）
 - ②「二次障害に対する支援 ～児童精神科医の立場から～」
岩坂英巳（奈良教育大学特別支援教育研究センター長・教授）
 - ③「中学校現場で起こっていることとその対応」
井上朋子（愛知県派遣中学校SC・一般社団法人サポートネットゆっか代表理事）
 - ④「発達障害を持つ高校生・大学生への支援」
木谷秀勝（山口大学教育学部附属教育実践総合センター教授）
 - ⑤「成人期を見すえた支援 ～それまでに何を行うべきか？～」
高橋 脩（豊田市こども発達センター・センター長）

午 後

14：00～16：00 分科会（定員 各100名程度）

- ① 幼児期における発達障害児への就学に向けた支援
- ② 特別支援教育における学校と専門家との協働
- ③ 学校における学習障害児のつまずきの理解と支援
- ④ 発達障害の子どもが学校生活を楽しく送るための工夫
- ⑤ 発達障害児を持つ家族への支援

申込方法

事前に、参加申込が必要です（詳細は別紙プログラム参照）。

締切は、平成25年7月5日（金）です。

なお、本セミナーは学校心理士認定運営機構よりB1該当研修会単位認定を受けております。また臨床心理士資格認定協会ならびに特別支援教育士資格認定協会へもポイント申請を予定しています。

申 込 先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター
第1プロジェクト室
FAX：052-747-6522
HP：<http://cdcpp.nagoya-u.ac.jp>
e-mail：hattatsushien@educa.nagoya-u.ac.jp

【プログラム】

8:45~	受 付
9:15~	開 会 総合司会 松本真理子 (名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター教授・センター長) 開会挨拶 國枝 秀世 (名古屋大学理事・副総長)
9:30 } 10:00	特別講演 「特別支援教育の現状と課題」 司 会：森田美弥子 (名古屋大学教育発達科学研究科教授) 講 師：樋口 一宗 (文部科学省 特別支援教育調査官)
10:00 } 12:30	シンポジウム 「発達障害児へのライフステージに応じた支援～将来を見すえて～」 司 会：永田雅子 (名古屋大学発達心理精神科学教育センター准教授) 野呂健二 (名古屋大学発達心理精神科学教育センター特任准教授) ① 「発達障害児への早期からの支援 ～健やかな学校生活のために～」 野呂健二 (名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター特任准教授) ② 「二次障害に対する支援 ～児童精神科医の立場から～」 岩坂英巳 (奈良教育大学特別支援教育研究センター長・教授) ③ 「中学校現場で起こっていることとその対応」 井上朋子 (愛知県派遣中学スクールカウンセラー・一般社団法人サポートネットゆっか代表理事) ④ 「発達障害を持つ高校生・大学生への支援」 木谷秀勝 (山口大学教育学部附属教育実践総合センター教授) ⑤ 「成人期を見すえた支援」 高橋 脩 (豊田市こども発達センター・センター長)
14:00 } 16:00	分科会 (定員 各100名程度) ① 「幼児期における発達障害児への就学に向けた支援」 岡田香織 名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター研究員 発達障害を持つ子どもが、スムーズに就学を迎えるためには、幼児期からの支援が重要となります。本事業における、5歳児健診、園との連携、子どもへの療育といった取り組みを紹介しながら、家庭、園、相談機関等のできる子どもと保護者への支援について検討できればと思います。 ② 「特別支援教育における学校と専門家との協働」 福元理英 名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター特任助教 小学校では、担任の先生から発達障害児童への対応に関する相談が多く寄せられています。今回は、半田養護学校の特別支援教育コーディネーターの岩橋智子先生をゲストに迎え、小学校における医療機関やスクールカウンセラー、その他専門家との協働について検討していきます。その後フロアの皆さまとも、議論を深めていきたいと思っております。 ③ 「学校における学習障害児のつまずきの理解と支援」 島垣智恵 静岡大学人文社会科学部講師 今回は、小学校低学年の児童300名におこなった調査をもとに、通常学級での学習に困難を抱える児童の読み・書き・計算のスキルに焦点を当て、彼らもっている認知情報処理の特徴やつまずきやすいポイントを今一度整理したいと思えます。そして、具体的な学習支援やかかわりの方法について、良い変化が見られうまく運んだケースだけでなく、うまくいかなかったケースについても参加者の方々と意見交換ができればと思っています。 ④ 「発達障害の子どもが学校生活を楽しく送るための工夫」 小倉正義 鳴門教育大学大学院学校教育研究科講師 学齢期の子どもたちにとって、学校での時間をいかに過ごすかは非常に重要な課題です。その子どもにとって学校生活が充実したものであれば、不適応行動も少なくなるでしょう。そこで、この分科会では発達障害の子どもたちが学校生活を楽しく過ごすために必要な環境調整の仕方や学校生活をより豊かにするためのスキル・トレーニングのすすめ方について参加者の皆様と一緒に検討していきたいと考えています。より具体的な議論ができるように、事例を交えつつお話しします。 ⑤ 「発達障害児を持つ家族への支援」 野呂健二 名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター特任准教授 発達障害児にとって、家族の果たす役割は非常に重要です。その一方で、家族にかかる負担も強く、家族自身への支援も必要不可欠です。この両者の視点を持ちながら、どう家族支援を行っていくか、について、ご一緒に検討していきたいと思っております。

発達障害児に対する将来を見すえた支援 ～幼児期から成人期に向けて～

参加申込書

送付日 平成 25 年 月 日

フリガナ			
氏名	男 ・ 女		
連絡先	住所	〒 -	
	TEL・FAX	TEL	FAX
	E-mail		
所属			
職種			
学校心理士資格	有 ・ 無	学校心理士登録番号	
臨床心理士資格	有 ・ 無	臨床心理士登録番号	
特別支援教育士(S.E.N.S)資格	有 ・ 無	特別支援教育士登録番号	

※ 午後の分科会の参加希望をお伺いします(守秘義務のある専門家に限らせていただきます)。
希望される分科会の番号と表題を、第3希望までお書き下さい。

午後分科会 参加希望	第1希望		
	第2希望		
	第3希望		

<お知らせ>

申込締切は、平成 25 年 7 月 5 日(金)です。

お申し込み後2週間以内に、参加の可否につきまして、ご連絡をさせていただきます。

返信がない場合には、お手数をおかけしますが、下記までご連絡ください。

<連絡先> 〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター第1プロジェクト室

FAX : 052-747-6522 e-mail : hattatsushien@educa.nagoya-u.ac.jp

HP アドレス : <http://cdcnp.nagoya-u.ac.jp>